

平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 東和中 学校
作成日	平成27年 3月 3日

1 教育目標

人権尊重の精神を全教育活動の基盤にした、心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	小中連携
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 目標としては、生徒・地域の実態から見ても適切である。 きめ細かく情報発信に努めている。 地域の豊富な教育資源を活用している。引き続き発掘して欲しい。 単一学区の特性を生かし、小・中連携も充実しており、地域との関係はよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標としてはいずれも適切である。 東和中学校にとっては、生徒指導の充実が長年の課題である。生徒の心に響く取組をしてほしい。 道徳と読書は大いに関連するので読み物はしっかり読ませて欲しい。 人権・同和教育の良いところを伸ばして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 東和中にとっては学力向上は特に大きな課題である。 全教員が連携して、指導方法に関する研修をより深めてほしい。 「職場体験」を進めていく上での努力に対する効果について検証してほしい。 特別支援教育の充実と研修を深めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業交流や人事交流、更に職員研修や交流が行われている。やはり、教師の力量が大きい。 小・中相互の授業交流に努力できている。 行事の交流のなかでの情報交換が大変役立っている。

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への参加呼びかけは粘り強く継続して、保護者・地域・学校が一体となった活動を展開してほしい。 HPや様々な紙ベース(お便り)により、生徒や保護者に対して学校の取組や行事、心身を育てるための細やかな情報発信ができています。 新たに「東和スマイルカップ」を開催し、生徒に団結力や自信を持たせる取組をしていることはすばらしい。 職場体験活動の取組の壁新聞が「合唱コンクール」の場で展示されていた。保護者や地域にとって、この活動を知る良い機会となった。 地域にはすばらしい人材資源や地域教材が多く、これらを活用することにより、生徒の心に響く教育が実施できる。 思春期の生徒には不安や悩みも多い。この第二次成長期が生徒にとっては最も大切な時期でもある。家庭訪問を中心として家庭と連携して教育を進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が一丸となって、生徒一人ひとりの理解に努めようとしている。 問題をかかえる生徒に対して、地域と連携をとりながら改善の道を探っている。 読書活動のアンケートがきちんと処理され、結果も公表されている。 道徳教育の充実を目指し積極的に取組もうとしている。 人権・同和教育が計画的に行われている。また、小中の教員の連絡会についても年々充実させようとしている。 朝のあいさつ運動も定着し、多くの教員が参加し、学年を超え、全生徒との関係を深めようとしている。 全員清掃が実施されているが、全教員の共通理解を図り、積極的な参加が必要と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、各教科及び学校全体で授業改善や授業力向上に向け、取組もうとしている。 言語活動を中心として協同学習の推進については、意義深いものがある。 「朝の読書」が定着し、良い雰囲気で行われている。実際に見学してそう感じた。 家庭学習の習慣を身につけさせるため、効果的な課題の方法を見つけようとしている。 将来の進路選択に向け、計画的に進路指導に取り組もうとしている。 特別支援教育における個別指導計画を作成することは大切である。学校全体としての取組を進めてほしい。 職場体験学習では、当日の体験のみならず、事前学習や体験後のまとめを壁新聞やスピーチによる発表などを通して生徒の力になっていることを感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業参観や研究協議を推進することは、教員の授業力アップに効果的と思う。 単一学区の特性を生かした充実した取り組みであるため、各取り組みに積極的に取り組んでほしい。 社会科の授業交流は決まったテーマで行われているがすばらしい取り組みである。 小・中連携教育については、様々な努力を積み重ねてきている。今後も更に工夫した取組に努力してほしい。
-------------	--	---	--	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">検証結果に対する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な合唱コンクールは、地域・保護者の参加も多く、地域に根ざした成果が上がる行事である。しかし、学校行事への参加は改善されたが、授業参観は昨年同様少なく、さらに啓発に工夫が必要と考える。 ・「宮前地区子どもを育てる会」等における地域各種団体との意見交換の場を、学校の情報公開の場として活用できている。 ・様々な紙ベース(お便り)の中の重要な内容は教員が生徒達と一緒に読むことにより、生徒には届いているようだが、保護者にまで浸透しているかどうか疑問である。 ・地域の人材を活用した授業展開は、生徒にも身近なものとして理解しやすいと思う。さらに、推進、発展させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ運動が多くの先生方や地域の方々の参加を得て、年々充実してきている。 ・朝の読書活動が定着しており、アンケート結果からも生徒全体に読書に親しむ習慣がついてきている。本を読むという行為自体が「豊かな心」ととらえてよいのではないか。より、推進してほしい。 ・道徳教育に年間計画通り取り組めたことは素晴らしいことだと思う。より、推進してほしい。 ・人権、同和教育が計画的に実施されている。小中意見交換会も効果的で、生徒の人権意識も高まっている。 ・いじめ問題解決に向け、積極的に予防対策に推進できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学力向上フォローアップ事業を効果的に活用し、積極的に協同学習等の研究を進められたことは素晴らしいことと思う。生徒が主体的に学ぶ授業が全教員に浸透していくことに期待する。 ・ペア学習、グループ学習によって、発言の少ない生徒の発言を促したり、生徒が互いに意見を交わすことによって、学習が深化していけば良いと思う。 ・学習意欲に欠ける生徒が見られる。学校だけの責任ではないが、大きな課題である。教師の力量を高め、説得力、授業力、コミュニケーション力なども高めてもらいたい。 ・朝の読書活動については、アンケート結果等により生徒に集中力や国語力が高まったことがわかる。 ・宿題の取組は、全学年が取り組んでいることは素晴らしい。宿題のチェックや粘り強い指導に敬意を払う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や情報の交流は大切なことで東和中と宮前小では積極的に行われ、成果が見られる。 ・同一敷地内に校舎がない場合は努力に対して効果は少ない場合が多いが、大きな成果が得られている。 ・新築された体育館で行われた各行事は、素晴らしい設備のもと、地域の中心的役割を果たしている。 ・「東和便り」が小学校にも配布され、小学校の保護者にも東和中学校の取り組みが理解されている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">改善方法に向けての意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修(研究授業)を増やすとともに、小学校のPTA役員対象からでも中学校見学を行事に入れてもらうよう働きかけてはどうか。 ・「東和スマイルカップ」には保護者の見学者も多かった。「合唱コンクール」と同様に地域にも呼びかけてもらい、東和の伝統的な行事となっていくことを期待する。 ・学校から発信する様々な情報について、確実に保護者にその内容が届けられるようにすることが課題である。 ・「宮前っ子 子育てプロジェクト」もより良く活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で取り組む授業規律を決め、全教員の目標としたことは良いことだと思う。 ・教員が、部活動や昼休憩・掃除等の生徒の活動に積極的に関わり、自然な中で生徒理解を図ってほしい。 ・朝の読書活動は是非続けてもらいたい。効果についても充分検証され、他校にもその効果を公表して欲しい。 ・道徳教育の充実が本校の課題である生徒指導の充実結びつくかと思うので、さらに工夫改善を進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝の読書」の定着が、生徒の国語力を高める助けとなっている。より一層の取組の充実と国語力の向上を期待する。 ・宿題を提出しない生徒が固定化されているようである。宿題の取組の充実のためにも、それらの生徒の宿題提出の習慣化のための工夫が課題である。 ・学校全体で授業改善に取り組もうとする姿勢とその実践を全教員に期待する。 ・発達障害についての研究・研修をさらに深めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東和中学校の小中連携は、他校と比べかなり進んでいると思う。児童会と生徒会の交流方法をさらに研究するなど、小中連携のより一層の充実を期待する。 ・私立校や県立校へ進学する小学生をどう東和中へ引きつけるか。東和中の魅力を発信し続けなければならない。

3 その他のご意見

<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業力は、生徒や保護者の信頼度につながるもので、授業の質を高めるのと同様に授業力向上のために努力してほしい。 ・クラスによっては、学級掲示物に大きな差がある。学習環境は、生徒の成長に大きな影響を与える。工夫をお願いしたい。 ・武道の必修化に向けた取り組みはできているように思うが、更なる指導の充実をおねがいしたい。 ・特別支援学級の取り組みの難しさを感じた。さらに、充実した取り組みを進めてほしい。 ・地域は東和中学校を愛しています。常に家庭訪問を心がけ、生徒理解を推進してほしい。
